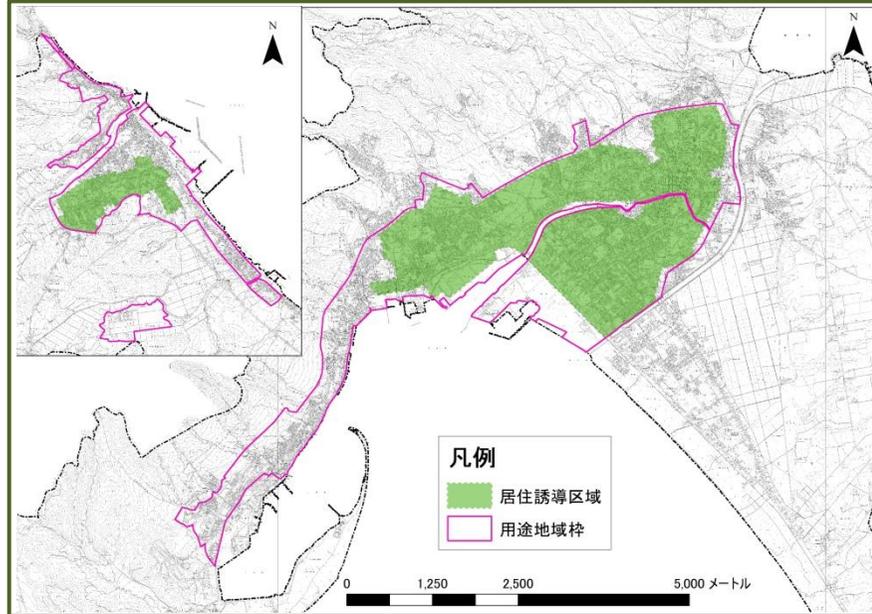


公園施設最適化プロジェクト「次代を見据えた公園管理」

居住誘導区域



現況：昭和から変わらない公園管理

現在市内にある公園等は昭和40～50年代に整備された箇所が多く、遊具やトイレ等の老朽化に伴い、修繕・撤去等、現状を維持するための経費が多かかっています。
 また、整備当初と現在とでは公園周辺の環境や生活スタイルが大きく変化しています。
 こうした中、昭和時代に整備された公園をそのまま維持管理していくのではなく、予算の効率的な活用を図りながら笑顔あふれる公園・広場等を整備・管理・維持するため、現在ある公園施設の最適化をする必要があります。

公園最適化の方針

むつ市公共施設等総合管理計画やむつ市みどりの基本計画に基づき、公園それぞれの特性を活かした魅力向上を図り、時代に即した公園管理を行います。
 新たな公園の設置については、立地誘導促進施設協定（コモンス協定）、Park-PFI等を活用しながら、官民連携したまちづくりにより目指していきます。
 (1) 金谷公園／早掛沼公園／水源池公園の3大公園…個別アクションプランにより公園づくりを進めます
 (2) (1)以外の都市公園…地域住民が安全安心に利用できるよう維持管理します
 (3) (1)(2)以外の広場等…防災広場として利活用を推進します
 ※土地借上経費のかかる小川町児童公園・新城ヶ沢地区遊園地は廃止を検討します

トイレの利活用

3大公園以外は災害発生時やイベント開催時等、必要な場所・期間のみ開放することとし、既存のトイレに替え、災害時に対応可能なマンホールトイレの設置や官民連携による維持管理とすることで、住空間・景観に配慮した安全安心なまちづくりを進めていきます。

遊具の管理・適正配置

国が定める都市公園における遊具の安全確保に関する指針に基づいて管理します。
 日常点検の他、専門業者による定期点検を行い、修繕等を要すると判断された遊具は下記の方針に基づいて対策します。
 (1) 3大公園…個別アクションプランにより公園づくりを進めます
 (2) (1)以外の居住誘導区域内に位置する都市公園／遊園地等…2連ブランコ・滑り台を中心とした遊具配置とします
 (3) (1)(2)以外の広場等…遊具が使用不可となった場合は撤去し、防災広場とした活用とします

スケジュール

		2019	2020	2021	2022	2023
遊具	点検 撤去・修繕	→				
	廃止に向けた 準備作業	→				
トイレ	マンホールトイレ 設置	→		検討	→	
					既存トイレ撤去 マンホールトイレ設置	→

イメージ



国交省の経費を守ること

あって良かったマンホールトイレ！

- 災害時には何もなく使っているトイレが使えない・・・から
- トイレに行きたくない⇒臭気・水分を貯える⇒体感不良の解消
- (エコノミークラス感嘆詞を軽減するおそれも)
- 災害時に快適なトイレが確保できるかは、色にかかるとは限らず

そこでマンホールトイレが大活躍します！

マンホールトイレのイのち

<p>すぐに使える</p> <p>マンホールの上に乗っか ないを設置するだけで使用可能</p>	<p>段差なし</p> <p>高齢者や車いすの方でも使いやすい</p>
<p>洋式トイレ</p> <p>使い慣れた トイレ設備を確保</p>	<p>くみ取り不要</p> <p>し尿は下水へ 送ることで 臭いも少なく衛生的</p>

国交省の経費を守ること

